

# 令和6年度 国産材の安定供給体制の構築に向けた 九州地区需給情報連絡協議会

■ 日 時：令和7年1月22日（水）13:30～16:00

■ 場 所：【オンライン】Zoomミーティング

■ 参加者：別紙1のとおり

## ■ 議事次第

1. 開 会

2. 挨拶： 田中 昇吾 九州地区需給情報連絡協議会 会長  
(株式会社九州木材市場 代表取締役)

3. 趣旨説明： 林野庁

4. 議 事

(1) 木材需給の動向と見通しについて【資料1、2】

- ① 林野庁からの情報提供
- ② 事業者からのコメント
- ③ 意見交換

(2) 木材取引の現状と再造林の確保に向けた取組について【資料3】

- ① 林野庁からの情報提供
- ② 事業者からのコメント
- ③ 意見交換

(3) 公正取引委員会からの説明【資料4】

(4) その他【資料5】

## ■ 配付資料

資料1：木材需給動向について（九州地区）

資料2：木材の需給見通しについて

資料3：木材取引の現状と再造林の確保に向けた取組について

資料4：優越的地位の濫用規制・下請法の概要等について  
(公正取引委員会)

資料5：木材需給情報の共有のあり方について

(参考資料)

参考1：地区別需給情報連絡協議会アンケートとりまとめ

参考2：持続可能な木材供給に向けて

参考3：ここから始める価格交渉（中小企業庁パンフレット）

参考4：林野庁施策関連資料

参考4-1：林野庁令和7年度当初、令和6年度補正予算について

参考4-2：非住宅分野での木材利用の一層の促進について

参考4-3：改正建築基準法の施行について

参考4-4：改正物流効率化法の施行について

参考4-5：改正クリーンウッド法の施行について

参考4-6：木材産業における外国人材の活用について

参考4-7：木材産業における作業安全について

参考4-8：木材産業における火災の未然防止について

令和6年度 国産材の安定供給体制の構築に向けた九州地区需給情報連絡協議会 議事詳細

所要時間 (150分)	議 事
2分	1. 開会
3分	2. 挨拶 ・九州地区協議会会長から挨拶
3分	3. 趣旨説明（林野庁） ・本協議会の趣旨、今年度のねらい等を説明
10分	4. (1) 木材需給の動向と見通しについて ① 林野庁からの情報提供 ・資料1により、九州地区の木材需給動向等を説明 ・資料2により、事前のアンケートに基づく各地区の需給見通しを説明
10分	② 事業者からのコメント ・川上、川中の構成員（各2者程度）から、九州地区の需給見通し等について補足
40分	③ 意見交換 ・自由討議
10分	(2) 木材取引の現状と再生林の確保に向けた取組について ① 林野庁からの情報提供 ・資料3により、木材取引の現状に係る事前アンケートの結果及び再生林の確保に向けた取組について説明
10分	② 事業者からのコメント ・川上、川中の構成員（各2者程度）から、事前質問について回答
40分	③ 意見交換 ・自由討議 ※ 事前質問については別紙2のとおり
10分	(3) 公正取引委員会からの説明 ・資料4により、公正な取引に係る仕組みや価格転嫁の重要性等を説明
5分	(4) その他 ・林野庁から、資料5により、今後の木材需給情報の共有のあり方について説明
5分	全体総括 ・会議全体について質疑応答 ・座長、協議会会長、林野庁からコメント
2分	閉会

## 令和6年度 国産材の安定供給体制の構築に向けた九州地区需給情報連絡協議会 構成員参加一覧 (順不同、敬称略)

	分野	所属	役職	氏名
学識経験者	特定非営利活動法人 活木活木森ネットワーク	理事長 【協議会座長】	遠藤 日雄	○
学識経験者	宮崎大学 農学部	教授	藤掛 一郎	○
森林管理局	九州森林管理局森林整備部	森林整備部長	松木 聡	×
		地域木材情報分析官	野邊 忠司	○
		供給計画係長	本田 勝美	○
森林整備センター	国立研究開発法人 森林研究 整備機構 森林整備センター九州整備局	企画役	三田村 英宜	×
		総務課課長補佐	末廣 晴彦	○
森林組合	福岡県森林組合連合会	代表理事会長	横田 進太	×
		事業課長	諏訪田 光弘	○
森林組合	佐賀県森林組合連合会	業務課長	古賀 賢二	×
森林組合	長崎県森林組合連合会	統括部長	小川 透	○
		業務指導課係長	酒井 岳大	○
森林組合	熊本県森林組合連合会	代表理事会長	前川 収	×
		代表理事専務	三原 義之	○
森林組合	大分県森林組合連合会	代表理事会長	井上 明夫	×
		総務課	日野 繁樹	○
森林組合	佐伯広域森林組合	代表理事専務	今山 哲也	○
森林組合	南那珂森林組合	代表理事組合長	井上 文利	×
素材生産	九州国有林林業生産協会	会長	有馬 純隆	×
素材生産	球磨川流域林業事業協同組合	代表理事	鳴松 誠治	×
素材生産	大分県造林素材生産事業協同組合	理事長	衛藤 正明	×
		参事	清家 英典	○
素材生産	宮崎県造林素材生産事業協同組合	理事長	前田 隆雄	×
		専務	田原 博美	○
素材生産	鹿児島県素材生産事業協同組合連合会	事務局長	神園 公博	×
木材加工	株式会社 くまもと製材	工場長	立石 雅之	×
木材加工	瀬戸製材株式会社	代表取締役	瀬戸 亨一郎	×
木材加工	株式会社小田製材所	代表取締役	小田 惣一郎	×
木材加工	木脇産業株式会社	専務取締役	山下 史洋	×
木材加工	外山木材株式会社	代表取締役社長	外山 正志	○
木材加工	新栄合板工業株式会社	取締役生産部長	前田 敏男	○
木材加工	株式会社大三商行サンテック事業部	事業部長	中嶋 英二	×
木材加工	中国木材株式会社 日向工場	部長	林 亮司	○
木材加工	株式会社さつまファインウッド	乾燥課課長	山下 孝博	○
木材加工	熊本県チップ協会	会長	木場 充浩	○
木材加工	宮崎県木材チップ工業会	会長	山口 秀樹	×
木材加工	株式会社南栄	山林部長	梶 靖夫	×
木材加工	一般社団法人福岡県木材組合連合会	会長	平川 辰男	×
		専務理事	渡邊 勝廣	○
木材加工	一般社団法人 長崎県木材組合連合会	会長	高島 正弘	×
木材加工	一般社団法人 熊本県木材協会連合会	副会長	大岩 禎一	×
		部長	宮崎 亮	○
木材加工	宮崎県木材協同組合連合会	会長	外山 正志	×
		専務理事	黒木 逸郎	○
木材加工	(株)ランベックスジャパン	取締役社長室室長	橋本 貴大	○
木材流通	株式会社伊万里木材市場	代表取締役	伊東 貴樹	○
木材流通	株式会社長崎木材市場	取締役営業部長	若杉 康広	×
木材流通	肥後木材株式会社	代表取締役	佐藤 圭一郎	○
木材流通	熊本木材株式会社	代表取締役	今坂 幸一	×
		部長	佐藤 博文	○

木材流通	住友林業フォレストサービス株式会社 九州事業部	九州事業部長	吉川 豊	×
		九州営業所長	谷川 賢一	○
木材流通	株式会社ナンブ木材流通	代表取締役	武内 暁男	×
木材流通	都城地区製材業協同組合	市売部長	庄司 寿夫	○
木材流通	鹿児島県木材銘木市場協同組合	専務理事	新地 憲一	×
建設	一般社団法人 日本木造住宅産業協会 九州支部	事務局長	岸本 尚典	×
建設	一般社団法人 JBN・全国工務店協会	理事 (㈱ホームランド)	壇 洋一	○
建設	九州地協 福岡県建設労働組合	住宅対策担当書記	池田 恵介	○
製紙・パルプ	日本製紙木材株式会社 西日本支店 八代営業所	チームリーダー	廣瀬 勝章	×
製紙・パルプ	中越パルプ木材株式会社	原燃料部長	原田 大五	×
木質バイオマス発電	中越パルプ工業株式会社	原燃料部長	原田 大五	×
木質バイオマス発電	日本フォレスト(㈱)天ヶ瀬工場	取締役社長	石田 博	×
苗木生産	福岡県樹苗農業協同組合	代表理事組合長	栗原 渉	×
苗木生産	佐賀県山林種苗緑化協同組合	理事長	織田 繁実	×
苗木生産	熊本県樹苗協同組合	理事長	羽田 誠次	×
		参事	本田 裕範	○
苗木生産	大分県樹苗生産農業協同組合	代表理事組合長	井上 伸史	×
		参事	峯崎 信介	○
苗木生産	宮崎県緑化樹苗農業協同組合	代表理事組合長	林田 喜昭	×
苗木生産	鹿児島県山林種苗協同組合	理事長	柴立 鉄彦	×
都道府県	福岡県 農林水産部 林業振興課	林業経営係長	濱地 秀展	×
		技術主査	宮川 永史	○
都道府県	佐賀県 農林水産部 林業課	林産担当係長	真井 奈月	○
都道府県	長崎県 農林部林政課	参事	富田 浩文	×
都道府県	熊本県 農林水産部 森林局 林業振興課	主幹	遠山 昌之	○
		主事	松本 梨央	○
都道府県	大分県 農林水産部 林産振興室	室長補佐 (総括)	安東 靖司	○
都道府県	宮崎県 環境森林部 山村・木材振興課	課長	二見 茂	○
		主幹	阿部 貴	○
		主査	中邨 久美子	○
都道府県	鹿児島県 環境林務部 かごしま材振興課	木材加工流通係長	川畑 雄二	○
協議会事務局	株式会社 九州木材市場	代表取締役【協議会会長】	田中 昇吾	○
		事務局員	田中 久子	○
		事務局員	武内 愛絵莉	○

## 「木材取引の現状と再造林の確保に向けた取組について」に関する事前質問

令和6年度 国産材の安定供給体制の構築に向けた需給情報連絡協議会の議題(2)「木材取引の現状と再造林の確保に向けた取組について」において、以下の点について議論いただきたいと考えていますので、事前のご準備をお願いします。

### (木材取引の現状)

1. 近年、木材生産のコスト構造に変化があると感じますか。感じる場合、その内容や要因はどのようなものですか。

例：物流 2024 年問題に伴う物流費の上昇、働き方改革の影響等による人件費の上昇、機械化の推進による生産効率化、原料丸太価格の変化

2. 需給動向や木材生産コスト、世の中の情勢等に変化が生じた場合、販売先に対して価格交渉を行っていますか。行っている場合、どのような工夫をしていますか。

例：燃料費の高騰等のコスト(原価)の変化を客観的なデータに基づいて説明している、安定供給可能など自社の強みを同時にアピールしている

### (再造林の確保に向けた取組)

3. 現在の木材価格では、再造林(将来の資源)が確保できないことが懸念されていますが、再造林が確保されるために必要な木材価格の水準は、どの程度と考えますか。

4. 再造林の確保に向けて、取り組まれていること又は必要だと思う取組があれば教えてください。

例：再造林費用を織り込んだ製品価格による取引を行う協定を結んでいる